

シンポジウム

リニア中央新幹線は必要か？

パネルディスカッション

コーディネーター

川村 晃生 *Teruo-Kawamura*
慶応大学教授 リニア・市民ネット代表

交通政策審議会
中央新幹線小委員会
「中間とりまとめ」
徹底検証！

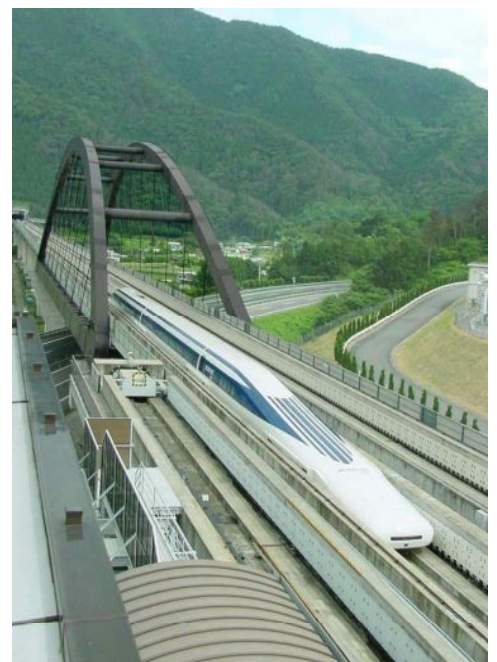
パネラー

橋山禮治郎 *Reijiro-Hashiyama*
千葉商科大学大学院客員教授 アラバマ大学名誉教

荻野 晃也 *Kouya-Ogino*
電磁波環境研究所所長 元京都大学工学部講師

サイモン ピゴット *Simon-Piggott*
長野県大鹿村住民町内会長

高原 順哉 *Masaya-takahara*
JR東海労働組合中央執行副委員長



★リニア中央新幹線は日本経済、人体、沿線住民、JR東海の経営などにどう影響するのか？

とき 3月27日（日）13時より17時まで

ところ ウィンクあいち 小ホール

名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL052-571-6131

参加費 500円

実行委員会 リニア・市民ネット/ガウスネット/全国自然保護連合/みどり・山梨/
JR東海労働組合

シンポジウム「リニア中央新幹線は必要か？」に、ぜひご参加を！

実行委員会代表・川村 晃生
(リニア・市民ネット代表)

2007年12月に、JR東海が単独事業としてリニア中央新幹線の建設計画を発表して以来、おおむねその実現への期待が各界に広がり始め、国民の間でも夢の乗り物が実現しそうだとの待望論が出始めています。

そのような状況の中で、国も2010年3月から国土交通省が諮問する交通政策審議会・鉄道部会で関係団体・有識者から意見を聞き、国民からはパブリックコメントを聴取しながら検討が重ねられてきています。そして、昨年12月15日「中間とりまとめ」を公表しました。大きく推進する方向で進められようとしています。

一方、市民側からもJR東海の計画の内容を検証する動きが活発化してきており、ようやくにしてリニア中央新幹線計画が議論の俎上にのせられつつあるように思われます。

リニア計画には、考えるべき多くの課題があります。JR東海の財政的問題は、その大きな一つの課題でしょう。JR東海が早くも減収を理由に開業を2年遅らせて2027年としたのはそのことをよく示しています。或いは、南アルプスという大断層地帯にトンネルを掘るという危険性と自然破壊、電磁波と生体との関係、エネルギー需要、地域の活性化など議論されるべき課題は山積しています。拙速なゴーサインは、後で取り返しのつかぬ事態を招くはずです。いまは多様な観点から、このリニア問題を議論すべき時ではないでしょうか。

進むにせよ引くにせよ、多面的な情報をもとに、冷静な時間をかけた思考が積み重ねられなければなりません。

この度のシンポジウムは、様々な方々から意見を頂き、リニア計画を熟考する機会として計画されたものです。多くの皆様のご参加をお願いします。

連絡先	ガウス・ネット	〒207-0016 東京都東大和市仲原3-10-1-C201
	代表・懸樋哲夫	TEL042-565-7478 FAX042-564-8664
	リニア・市民ネット	〒400-0014 山梨県甲府市古府中町984-2
	代表・川村晃生	TEL・FAX055-252-0288